

女性政治家のための非暴カトレーニング と (女性限定。一般の女性も歓迎します。)

講演会「女性議員—私たちはこうして増やした」 (どなたでも)

ゲスト

ラダ・ボリッチ
さん



- Rada Boric クロアチア・ザグレブ生まれ。言語学者。南スラブ文学の専門家。
- 元CWWV (Center for Women War Victims: 女性戦争犠牲者救援センター) プログラム・コーディネイター。現・クロアチア女性学センター代表。ドイツのフライブルグ大学などで教壇に立つ。
- クロアチア政府の「戦争における性暴力被害女性支援法」作業委員会の委員、「戦争でのレイプを止めろ」ノーベル女性イニシヤティブ運営委員などを歴任。

★ クロアチアの女性運動の中心人物であり、「世界で最もパワフルなフェミニスト 7 人」(『フォーブス』誌)の一人、ラダ・ボリッチさんが来日します。

■ 旧ユーゴスラビアからの独立など、激動の歴史を経験してきたクロアチアでは、1999年、紛争時代からの大統領の他界による政治的変動が起きました。その中で、CWWV (女性戦争犠牲者救援センター)をはじめとするフェミニスト・女性NGOは、臨時女性連立を結成し、「女性の政治をするために女性議員を増やそう」、「女性議員を女性の人口比と同じ51%に」をスローガンに強力なキャンペーンを張りました。その結果、女性議員は2000年の選挙で7.9%から一挙に20.5%に急増、後には26%近くまで増えました。また、その過程で行われた「女性政治家のための非暴カトレーニング」を通じ、政界、政党内部の家父長主義を暴きだし、超党派の女性議員の連帯を生み出しました。

■ しかし、2015年の選挙では初の女性大統領が誕生したものの、女性議員は15%に急減しています。「女性の政治をするために」という当初の課題はどこまで達成できたのでしょうか。そして、もちろん「女性なら誰でもいい」わけでもありません。

■ この機会、ラダさんの経験に学び、女性の議会進出を加速化させる知恵と力とワザを鍛えませんか。ぜひお誘いあわせの上、ご参加下さい。

終了後、交流会も行います。
申込み時にご予約ください。
会費：3000円程度

日時：8月16日(火)

◆非暴カトレーニング 13:00~17:00 参加費 2000円 (定員 30名)

◆講演会 18:30~20:30 (開場 18:00) 参加費 1000円 トレーニング参加者・学生は500円

会場：渋谷区男女平等ダイバーシティセンター・アイリス 会議室

(渋谷区文化総合センター大和田8階 JR渋谷駅西口5分 歩道橋を上がり対角方向のエレベーター付近ファミリーマートの脇の坂を上がる。 渋谷区桜丘町23-21)

《要予約》 申込み・問合せ：世織書房 045-317-3176 または seori@nifty.com

<ラダ・ボリッチさんについて>

■ラダ・ボリッチさんは、旧ユーゴスラビア紛争中の 1992年にCWWV (Center for Women War Victims:女性戦争犠牲者救援センター)を組織し、あらゆる民族の女性被害者をフェミニズムの視点で支援すると同時に、女性被害者を戦争と暴力に反対する活動家に育成してきました。この時期、ラダさんは旧ユーゴスラビア諸国のフェミニストNGOとのネットワークを独自の通信網で秘密裏に形成し、戦闘の境界を越えた被害者支援ノウハウの交換など、精力的に活動しました。

■クロアチア紛争後(1995～)、戦場の暴力は、小銃や手榴弾などの小火器とともに社会に持ち込まれ、深刻な DV として女性を苦しめました。CWWVなどフェミニストNGOは、「女性への暴力反対」キャンペーンを繰り広げ、また、クロアチア民族の宗教的アイデンティティである、カトリック教会の影響下での中絶犯罪化に反対するなどしながら、クロアチア国内での女性NGOのネットワーク化を進めました。ここで注目されたのが、「非暴力トレーニング」です。

■1999年のトウジマン大統領の他界後、右派政権から中道左派政権に交代する際に、「女性の政治をするために、女性議員を過半数にしよう」という強力なキャンペーンがおこなわれました。この結果、拘束名簿式比例代表制のクロアチアでは、女性候補を名簿の上位に位置づけることに成功し、女性議員は大幅に増えました。社会民主党を中心とする中道左派政権は、女性NGOと協働し、女性の権利擁護、地位向上、社会進出の促進など、さまざまなリベラルな政策を打ち出しました。ラダさんはこうした女性運動の流れの中心にいました。

■次のターゲットは、「女性議員を責任ある地位に」に移り、大統領などに女性が就任するに至りました。しかし女性の議席数は減少。ラダさんは現在の状況をどのようにとらえているのでしょうか。

■ラダさんは現在、クロアチア女性学センター代表を務め、主に戦争における女性の性暴力被害の理由とメカニズムを研究課題としています。

(右図はクロアチアと周辺諸国)



【全国フェミニスト議員連盟について】

日本の政策決定の場である議会にあまりにも少ない女性議員をふやしていくため、1992年に全国の市民や議員がつくった会員組織です。女性議員が一人もないゼロ議会をなくすキャンペーンや、女性候補・議員の支援にも取り組んでいます。議会におけるセクハラ事案を調査し冊子にまとめ、是正に尽力しています。

【女政のえんについて】

「女性と政治」について語り合おうと、2006年から大臣・首長を含む女性政治家他をゲストに、20回あまりトークイベントを開催。この4月、千葉県知事、国立市長、熊本県知事をそれぞれ二期八年務めあげた女性首長らの講演をまとめ、『首長たちの挑戦—女が政治を変える』（世織書房）を編集・出版。当日、関連図書として販売します。注文も受付中。